

山口県感染症発生週報

(第44週:平成30年10月29日～11月4日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核:3例(岩国、山口2例)

【4類感染症】

・日本紅斑熱:1例(宇部)

【5類感染症】

・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:2例(防府、山口)

・急性脳炎:1例(宇部)

・劇症型溶血性レンサ球菌感染症:1例(岩国)

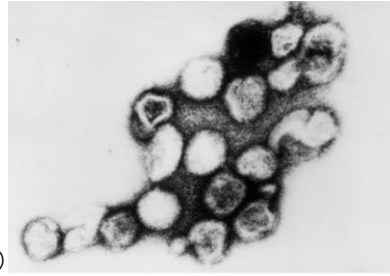
・後天性免疫不全症候群:1例(岩国)

・梅毒:2例(下関、防府)急増した昨年よりさらに増加しています。気になる場合は医療機関で相談してください。保健所でも検査を受けることができますので、最寄りの保健所へお尋ねください。

・百日咳:第43週追加 3例(宇部)、第44週 5例(柳井、山口、宇部3例)

・風しん:第43週追加 1例(周南)

第44週 1例(宇部)全国的に30～50代の男性に多い状況です。風しんにかかったことがなく予防接種歴もない方は、予防接種を受けることを検討してください。



風しんウイルス

CDC/ Dr. Erskine Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・RSウイルス感染症:岩国、山口、萩で発生が多い状況です。

・水痘:山口、長門で増加し、注意報レベルとなりました。[注意報レベル:山口(1週目)、長門(1週目)]*

・手足口病:萩で警報レベルが続いています。[警報レベル:萩(2週目)]*

・流行性角結膜炎:岩国で増加し、警報レベルとなりました。[警報レベル:岩国(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	42週	43週	44週	疾患名	42週	43週	44週
インフルエンザ	3	10	24	ヘルパンギーナ	8	19	15
RSウイルス感染症	65	46	28	流行性耳下腺炎	1	0	1
咽頭結膜熱	4	9	2	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	97	116	流行性角結膜炎	6	13	16
感染性胃腸炎	225	257	281	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	7	5	15	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	44	50	20	マイコプラズマ肺炎	0	2	0
伝染性紅斑	6	10	6	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	24	22	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	5	0	0	0	1	3	14	1	0	24
RSウイルス感染症	3	6	3	0	1	7	6	0	2	28
咽頭結膜熱	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	23	1	29	6	13	11	0	4	116
感染性胃腸炎	37	19	13	89	2	21	82	1	17	281
水痘	1	3	1	1	0	6	1	2	0	15
手足口病	0	4	0	3	2	6	1	0	4	20
伝染性紅斑	0	0	0	5	1	0	0	0	0	6
突発性発しん	2	0	0	7	4	0	4	0	1	18
ヘルパンギーナ	1	0	1	8	0	2	3	0	0	15
流行性耳下腺炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	9	4	0	0	1	1	0	0	16
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・日本紅斑熱:リケッチア ジャポニカ(検体採取週 第44週)が検出されました。

・風しん:風しんウイルス1E型(検体採取週 第43週)が検出されました。